

(5) 豊かな資源を活かし 観光と交流で賑わうまち

(5) - (i) 魅力あふれる観光地づくり

【現状と課題】

本町は、浦富海岸、岩井温泉などの観光資源に恵まれ、それらを活用した観光業が営まれています。

近年では、人気アニメのロケ参考地になったことや道の駅の開業に伴い観光客は増加傾向にあり、さらには、豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」のJR東浜駅停車（平成29年予定）、ジオパークのユネスコ正式事業化といった観光客の増加につながる話題がある一方で、宿泊施設は減少傾向にあります。

町民・民間団体・周辺自治体と連携し、豊かな観光資源を活かして、さらに魅力あふれる観光地づくりを推進し、宿泊施設への観光客の誘致を行うことが必要です。

【基本的な方向】

町民や民間団体と連携し、多様化するニーズに応える観光メニューやイベントを充実するとともに、様々な媒体により多方面へ積極的に情報発信を行うなど、観光客の誘致に取り組みます。

また、豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の受入体制を整えるほか、周辺自治体と連携し広域的に観光客の周遊性や滞在性を高める取組を行うとともに、町内の観光案内看板・案内所の整備、観光客に対するおもてなしの心の醸成に取り組みます。

【施策の内容】

①豊かな資源を活用した観光メニューの充実

- ・町民や民間団体と連携し、豊かな観光資源を活かした体験型・滞在型の観光メニューや、浦富海岸元気フェスティバル、ジオウォーク、アニメ関連イベントなどのイベントを充実します。
- ・松葉がに、モサエビなどの地域食材を活用して、宿泊施設や飲食店などへの誘客を促進します。

②積極的な情報発信

- 町民や民間団体と連携し、電子媒体や紙媒体等の様々な手法で、最新の観光情報を発信します。
- 県内外のマスコミや旅行代理店などに出向き、観光の魅力を発信します。
- 観光パンフレットなどを作成し、県内外の観光施設などに配置して情報発信します。
- 県内外での観光PRイベントなどに積極的に参加して情報発信します。

③受入体制の整備

- 観光協会、道の駅、渚交流館を核として、町内の観光施設が連携して観光客の受入体制を整えます。
- 豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」のJR東浜駅への停車に対し、地元を中心としたおもてなしと、これを契機に町内の観光資源や特産物のPRを行います。
- 増加傾向にある外国人観光客に対応するため、多言語の看板やパンフレット、電子媒体による情報発信などを広域的に取り組みます。
- 近隣市町村と連携し、観光素材の磨き上げや周遊観光の促進を図ります。

- 案内看板、案内所及び観光施設を整えるとともに、観光事業者をはじめ、町民全体がおもてなしの心で観光客を受け入れる環境を整えます。
- 浦富海岸の環境を守り、受入体制を充実するため、関係団体が行う清掃活動や観光施設の整備を支援します。
- 県内外の大学による町内の宿泊施設等を利用したフィールドワーク、合宿などの取組を支援します。

【めざす目標】

施策の区分	指標名	現状	課題
		H27 年度	H33 年度
豊かな資源を活用した 観光メニューの充実	年間観光入込客数	325 千人	345 千人
積極的な情報発信			
受入体制の整備			

(5) - (ii) 山陰海岸ジオパークの活用

【現状と課題】

浦富海岸を含む山陰海岸ジオパークについては、関係自治体や関係機関等が協力し、ジオパークを活用した地域の活性化や観光客の誘致に取り組んでいます。

また、本町におけるジオパーク体験活動の拠点である渚交流館は、山陰海岸ジオパークの世界認定を契機に利用者が増加しています。

さらに、平成 27 年 11 月、ジオパークがユネスコの正式事業になったことを受け、ジオパークの注目度は今後さらに上がっていくことが期待されており、今後も広域での連携を一層強めるとともに、民間団体と一体となって、観光や経済、教育など幅広い分野での活用を行っていく必要があります。

【基本的な方向】

関係自治体や民間団体と一体となって、ジオパークの認知度を高めるための取組を行うとともに、豊かな地域資源を活用して体験メニューやイベントを充実します。

鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館と渚交流館の連携を強化し、効率的にジオパークを活用した誘客を推進します。

また、町内のジオパークの案内看板や関連施設を充実するとともに、民間団体によるジオパークを活用した取組を支援するなど、平成 30 年度の再認定を目指して、さらにジオパークを推進します。

【施策の内容】

①ジオパークを活用した地域の活性化

- ジオパークを活用した地域活動を支援し、地域の活性化や観光客の誘致に取り組みます。
- 民間団体が実施するジオパークに関する講習会や学習会などの開催を支援し、ジオパークについ

での知識を深めることで、地域への自信と誇りにつなげます。

- 観光客の満足度を高め、リピーターにつなげるため、ジオパークを活用した体験・滞在型メニューを充実します。
- 日本ジオパーク委員会や山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、電子媒体や紙媒体等の様々な手法で情報発信します。

②ジオパークの保全と観光などへの活用

- 「鳥取県立山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館」と「渚交流館」の愛称を「岩美ジオフィールド」とし、一体的な活用を推進するなど、効果的な誘客に取り組みます。
- 浦富海岸、岩井温泉などの豊かな自然に恵まれた山陰海岸ジオパークを保全し、案内看板を整備するなど観光客が満足できる環境を整備します。
- 観光事業者などの民間団体と連携を強化し、案内所の整備やジオパークの解説ができる人材の育成支援など、受入体制の充実を図ります。
- ジオパークを活用した新たな商品づくり、PRに要する経費などを支援して地域産業の振興を支援します。

【めざす目標】

施策の区分	指標名	現状	目標
		H27 年度	H33 年度
ジオパークを活用した地域の活性化	ジオガイドの人数 (岩美ガイドクラブ会員数)	25 人	30 人
ジオパークの保全と観光などへの活用			

(5) - (iii) 交流の推進

【現状と課題】

国際交流は中国、国内交流は東京都武蔵野市などと交流をしていますが、町民との地域間交流までには至っていません。そのため、人と人とのつながりにより、新たな知識や価値観を得られるような交流にする必要があります。

【基本的な方向】

国際交流や国内交流を継続していくなかで、町民にとって意義のある交流となるよう取り組みます。

【施策の内容】

- ・日中友好事業の開催や中国訪問などの国際交流事業によりお互いの生活習慣などを知り、理解を深め合う取組を支援します。
- ・武蔵野市などの都市部との交流により本町のファンを増やすとともに、アンテナショップなどを通して町内産物の都市部への流通を促進します。